

今金町から皆様へ重要なお知らせ 第22号

新型コロナウイルスワクチン接種について

▶今金町の予防接種実施率（令和4年9月12日現在）

	1回目	2回目	3回目
65歳以上	98.9%	98.3%	93.2%
20～64歳	92.9%	92.7%	81.8%
12～19歳	91.7%	91.3%	62.1%
5～11歳	31.9%	31.9%	-
合計	92.5%	92.2%	85.8%

4回目接種

60歳以上	77.5%
18～59歳の①基礎疾患を有する方 ②医療従事者等及び高齢者施設等の従事者	申請者383名 接種率78.1%

- 18歳～59歳の基礎疾患を有する方で4回目接種を希望される方は、今金町新型コロナウイルスワクチンコールセンターにお問合せいただくか（83-8085）、厚生労働省HP「[コロナワクチンナビ](#)」から接種券の発行申請ができますのでぜひご利用ください。
- 1・2回目接種を希望される方についても随時受付しておりますので、お気軽に今金町新型コロナウイルスワクチンコールセンターへご連絡ください。

▶今金町における新型コロナウイルス感染状況

- 期間 令和2年11月1日～令和4年8月31日（1年10か月）
- 感染者数 431名（みなし陽性者72名を含む）
- 男女別 男性190名、女性238名、未確認3名
- 年代別

10代未満：87名	60代：33名
10代：49名	70代：23名
20代：25名	80代：23名
30代：74名	90代：34名
40代：53名	100代：1名
50代：26名	未確認：3名

○感染経路

不明	154名（36%）
家族感染	132名（31%）
集団感染及び クラスター感染	127名（29%）
その他	15名（3%）
未確認	3名（1%）



発行：今金町新型コロナウイルス感染症対策本部 新型コロナウイルスワクチン接種推進部会
担当：今金町保健福祉課 健康づくりグループ（電話 0137-82-2780）

▼[今金町における新型コロナウイルスワクチン接種に関する問い合わせはコチラ](#)▼

今金町新型コロナウイルスコールセンター TEL 0137-83-8085（平日8:30～17:15まで）

5歳から11歳のお子様の保護者の方へ

〈新型コロナワクチン接種（3回目）のお知らせ〉



3

5歳から11歳のお子様も、
回目接種が受けられるようになりました。

Q. なぜ追加接種（3回目接種）が必要なのでしょうか？

A. 子どもの感染者数の増加とともに、重症者数も増加傾向にあります。初回接種（1・2回目接種）後、時間経過とともに発症予防効果が低下しますが、追加接種（3回目接種）を行うことにより効果が回復すると報告されています。ぜひ、お子様と一緒に3回目接種をご検討ください。

接種の対象と使用するワクチン

- 1・2回目接種を完了した5～11歳のお子様を対象です。
- 1・2回目接種を完了し、5か月以上、間隔を空けて接種します。ファイザー社の5～11歳用のワクチンを使用します（※）。（※）ファイザー社の12歳以上のものに比べ、有効成分が1/3になっています。



新型コロナワクチンの効果

Q. 3回目接種をすることで、どんな効果がありますか？

A. 新型コロナワクチンを受けることで、新型コロナに感染しても症状が出にくくなります。5～11歳の子どもに対するワクチンの追加接種後は、オミクロン株を含む新型コロナウイルスに対する中和抗体価（※）が上昇します。また、時間経過とともに低下した初回接種による発症予防効果が、追加接種により回復すると報告されています。

発症予防効果（イメージ）



（※）ウイルスの感染力や毒素の活性を中和できる抗体の値のこと

出典：特例承認に係る報告書

Fleming-Dutra KE, Britton A, Shang N, et al. Association of Prior BNT162b2 COVID-19 Vaccination With Symptomatic SARS-CoV-2 Infection in Children and Adolescents During Omicron Predominance. JAMA. 2022;327(22):2210-2219.

新型コロナワクチンの安全性

Q. 3回目接種を受けた後は、2回目接種の後と比べてどんな症状が出ますか？

A. 5～11歳の子どもに対する3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目接種の後と比べると、おおむね同様の症状が見られ、2回目接種時を上回るリスクは報告されていません。

■ 5～11歳の接種後7日間に現れた症状発現率の比較（ファイザー社ワクチンを使用）

報告割合	接種後の症状（2回目接種後→3回目接種後の症状の発現率）		
50%以上	疼痛（72.2→73.9%）		
10～50%	疲労（46.6→45.6%）	頭痛（30.1→34.0%）	筋肉痛（12.5→18.3%）
	発赤（16.5→15.6%）	腫脹（14.0→16.4%）	悪寒（10.3→10.5%）
1～10%	発熱（8.8→6.7%）	関節痛（5.5→6.7%）	下痢（6.5→4.9%）
	嘔吐（1.8→2.4%）		



出典：特例承認に係る報告書

5～11歳用のワクチンがオミクロン株流行下でも有効であるとの最新情報を踏まえ、5歳から11歳のお子様にもワクチンを受けていただけるよう、ご本人とその保護者の方に努めていただくことになりました。これは、国民の皆さまに接種にご協力いただきたいという趣旨によるものであり、接種を強制するものではありません。

詳しくは厚生労働省ホームページQ&Aをご覧ください。→

